

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



挽ぎたての命漲る茄子の紺
 南桜町 宮腰 幸子
 待つひとのなき陋屋や秋桜
 藤本町 池田 良子
 名月や冥加いのちの尽きるまで
 仲町 玉野 研一
 憂きことは話題とせずにとろろ汁
 元町 竹内スミエ
 閉店の増ゆる町並稲穂波
 西岡町 渋谷みさ子
 胃の検査終へて仰げる今日の月
 仲町 徳井 隆男
 味噌汁や落葉茸のうまさこと
 西原町 児玉久美子
 十五夜を並びて眺むふたりかな
 西岡町 児玉 洋子
 稲を刈る遠き昔の鎌の音
 旭町 宝澤 房子
 コスモスの束ねて生けし籐の籠
 西町 金澤 頼子

恙がなく一日終りて虫音聞く
 元町 印牧 安子
 湖の青水面を照らす良夜かな
 緑町 齋藤 嘉子
 颯と吹く風に耐えうる秋桜
 仲町 坂部 和子
 長雨にコスモス耐えて咲きほこる
 元町 西崎 弘子
 百年の店をたたんで秋桜
 屯田町 古屋 克江
 ステンシル仕上げて眺める今日の月
 仲町 梅基 文子
 赤とんぼ小さいさき肩に休みおり
 旭町 大河 博子
 よされ節夜風に流れ送り盆
 旭町 大河内清枝
 三つ四つ花がら増えて秋せまる
 西町 岸波 君江
 ほっこりと煮えし金時食卓へ
 藤本町 鈴木ゆき子
 両手より零るるものに虫の声
 西町 高井 孝子
 人逝きぬ百合の花びらこぼるまま
 東町 高草木喜代子
 朝霧や日増に進む農作業
 西岡町 高瀬久美子
 病む膝をかばう歩幅に秋の風
 西町 文梨 清子
 釣り糸のキラリ秋日のど真中
 仲町 芳賀 星子
 親友の供花は全て絆色
 旭町 大河 茂



『あげます。』

浜田桂子作
(ポプラ社)

小さな頃は、きょうだい
 いがでできると、それまで
 たくさんの大人から受
 けていた愛情を独り占
 めできなくなり、寂しく
 なってしまうのでしょ
 うね。「ぼく」が、兄と
 して成長あるまでの可
 愛らしい絵本です。



information 絵本の館から

新着図書

- 子どもを本嫌いにな
ない本 (赤木かん子 著)
- 23人の定番わが家レシピ
(暮らしの手帖編集部 編)
- だから日本はズレている
(古市憲寿 著)

ほか

今月のおすすめ絵本



『いえでをしたく だったので』

リーゼ・モーグ・スコーベン文
ドリス・バーン絵
松井るり子訳
(ほるぷ出版)

家出をしなくなった
 きょうだい、荷物をま
 とめてみんなで出てい
 くおはなしです。行く
 先々は、みんなが好きな
 場所。みんな一緒なら、
 家出も楽しい冒険です。
 でもやっぱり、おうちが
 一番なのですね。